

森林官からのあたり

中越森林管理署 小出森林事務所 森林官 細野 勝男



夏のゆきまつり

私の勤務する小出森林事務所は、新潟県中越地方の魚沼市に位置し、尾瀬、銀山湖（奥只見ダム湖）、越後三山の駒ヶ岳、中ノ岳等自然にあふれた約2万1千畝の広大な面積を管理しています。

新潟県の中でも魚沼地方は特に積雪量が多いことで有名ですが、今年もまた軽く2㍍を超える積雪がありました。昨年、一昨年と少雪で除雪作業も少なかったのですが、今年はほぼ毎日除雪をしています。（メタボな私にはとてもよい運動ですが・・・）



巡視の途中でちょっと休憩

雪国の生活は不便なことも多いのですが、この地方にとっては雪も貴重な観光資源で、管内にある奥只見丸山スキー場は、営業期間が12月中旬から正月まで、3月中旬から5月中旬までと春スキーをメインにした営業をしており、特に春スキーはブナの芽吹きの頃まで滑れるので多くのスキーヤーやスノーボーダーが訪れます。

また、銀山平地区では、キャンプ場内に積もった雪を保温シートを掛けて保存し、毎年7月下旬に開かれる夏のゆきまつりの折り、会場に約8万トンの巨大な雪山が作られ、そりや雪遊びを楽しみに大勢の親子、観光客が来場します。このおまつりでは、当署も木工教室を開き、木の葉のバッチ、自然木の枝でマイ箸作り等を行い、来

場者から好評を得ています。

管内の国有林は、大部分がブナなどの広葉樹林であり、多種多様な生物が生息していますが、その中でも特に私が紹介したいのは北ノ又国有林内を流れる北ノ又川の大イワナです。

釣り好きでこの地によく訪れていた、作家の故開高健が愛した川として知られていますが、その開高さんの呼びかけがきっかけとなり、銀山湖の種川として昭和56年、永年禁漁河川に指定されました。また、全国的に見ても珍しいことですが漁場監視員が川のそばの監視小屋に泊まり込みで常駐し、昼夜を問わず密猟者から魚を守っており、このため、非常に多くの魚が生息しています。

8月のお盆頃になると、銀山湖から大イワナの群れが、秋の産卵に向けて遡上を始めます。宮ノ淵という少し深い場所があって、お盆すぎから9月下旬頃まで沢山のイワナを見ることが出来ます。また、以前10月頃巡視業務の途中、ひとまたぎできるような沢を渡ろうとしたところ、50㍍くらいの大イワナがバシャバシャと飛び出して来てビックリしたこともありました。

魚の多さ、大きさに感動すると思います。紅葉の頃がシーズンですので、リバーウォッチング（魚たちを驚かさないう程度に）は如何でしょうか。

このように自然豊かな環境で勤務していますが、その自然を後世に残さなければいけないと責任を感じています。

国民の財産である国有林を適切に管理し、地域の皆さんと交流を深め、期待される国有林でありたいと思います。



宮ノ淵の大イワナ



「河は眠らない」開高健記念碑
北ノ又川河畔